一日たりとも、熊本のことを忘れたことは、ありません。

日本を代表する漆芸家で人間国宝の増村益城さん(77)。県立美術館での個展のため里帰り中の増村さんに漆の魅力などについてお尋ねしました。

――先生は上益城のご出身ですが、漆にはあまり縁のない熊本で漆芸の道に入られたきっかけは。

熊本の市立商工学校で学んだのが最初でした。私は、農家の十人兄弟の末っ子でね、小さい頃から手先が器用だったこともあって、何か手に職をつけようと始めたんですが、研修先の奈良で古い漆器を見た時、あまりのすばらしさに驚きました。

――それから六十年、増村さんを魅きつけた漆器の魅力とは。

目を閉じて触れてみると漆器の良さがよく解るんですね。それに〝用の美〟といいますか、使いこむ程に深い味わいが出るのも魅力です。私はいつも最も難しい作品に挑戦し続けてきました。それでも、満足いくものはなかなか……まだまだ勉強しなくては。

――先生の場合〝髹漆〟ということですが。

〝髹漆〟とは漆を塗ること。漆器という方が多いようですが、その基礎となるものが〝髹漆〟です。ただ私は塗りだけでなく、姿・形を大切に思いますので、ボディ作りからすべて自分でやっています。

――ボディは木で作られるのですか。

いえ、原型のうえに、麻布や和紙などを漆液で貼り固めて作ります。こういうと簡単そうですが、この技法を自分のものとして完成させるまでが大変でしたね。

――今度、県の近代文化功労者の表彰を受けられ、又、回顧展ともいえる個展が熊本で開かれた訳ですが――。

大変名誉で嬉しいことです。個展については、これだけのものは中央でもやったことはないので、それを故郷の熊本でやれたことは本当に良かったと思っています。

――最後に熊本についての想いを一言。

今千葉に住んでいますが、妻（久美さん）も熊本の出ということもあって、熊本のことが話題にならん日はないですね。これこそ一日たりとも忘れたことはありません。益城という名前も熊本を思ってつけたものですし、こうして帰ってくると、本当にホッとしますよ。これからも熊本を想いながら、一つでも二つでも納得いく作品を作っていきたいと思っています。

――どうもありがとうございました。

漆芸家　増村　益城さん

編集後記

▽〝ぼくらいきいき〟で紹介した久木野小学校が今年度の全国健康優秀校に選ばれました。

同校は南外輪山のふもと、標高四二〇メートルにあり、阿蘇五岳が運動場の正面に広がっています。広大な自然が子供たちの元気の素なのかもしれません。優良校選考のため、訪れた中央審査員も、「管理されていない良さですね。のびのびしている。」と感想を述べられたとか。裸足で運動場を駆けまわる子供たちの姿に私も全く同感。

▽早いもので、もう一年を振り返る時期になってしまいました。四月以来、バタバタと毎日を過ごし、〝アッ〟という間の九か月でした。

そういえば、最近とみに月日の経つのが早くなったような気がします。世の中全体がそうなのか、私一人がそう感じるのか…（齢をとった証拠かな）ともあれ、同じ一生ですもの、時間に流されることなく一日一日をじっくりと味わって生きたいものです。誰かも歌っていましたよね〝もう少し時代が緩かであったなら……〟と。

来年は辰年。昇り竜をめざして、スタッフ一同気分も新たに頑張りますので、よろしくお願いいたします。

では、少々早い気もしますが、〝皆様よいお年をお迎えください。〟

熊本銀座5丁目

〝熊本情報の発信ステーション〟――「銀座熊本館」。今年3月16日のオープン以来、県内各地域の企業、グループが、ここを舞台にさまざまなイベントを繰り広げています。

銀座熊本館

熊本県ならではの海・山の幸をお届けします。

全国で初めて、県・生産団体をあげて生鮮品のカタログ販売「くまもとうまかもん直送便」を実施する県は、十月十九日から一週間、銀座熊本館で「メイド・イン・くまもと'87」のキャンペーンを開催しました。

期間中、銀座熊本館前では揃いのハッピを着た野菜農家や、ミカン農家の三人の娘さんたちが、毎日三百人の道行く人に県産品のからいもやミカンをプレゼント。「熊本産の生鮮品をよろしく」とPR。

館内には、コレステロールの少ない肥後ビーフや地鶏〝熊本コーチン〟などの畜産品や新鮮なアワビ、活車エビなどの海の幸、ミカン、アールスメロンなどの果実類、椎茸、釜いり茶などの農産物、甘夏や柚の果実飲料など十六品目を展示し、試食、試飲の他、予約受付を行いました。

今年のお歳暮は熊本の生鮮品から――と今後も積極的なPRを予定しています。

〝銀座熊本館〟のご利用申し込み・お問い合わせは――
●熊本県東京事務所広報経済課
〒104 東京都中央区銀座5丁目3-16
☎03(572)5022
●熊本県総務部広報課
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1
☎096(383)1111

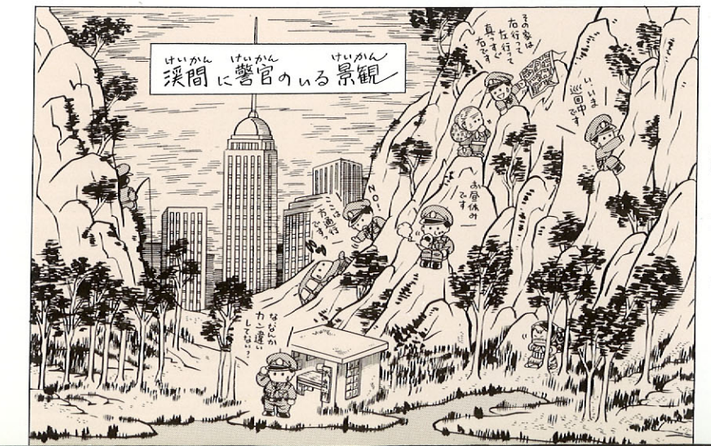
今年から、お歳暮にも産地直送の味を！
――始まりました、熊本うまかもん直送便――

無料
カタログで、らくらく品選び。
くまもとが、自信をもってセレクトした、熊本のうまかもんがズラリ。
ご利用は、まずハンディーな無料カタログを、お取り寄せください。
※数に限りがありますなくなりしだい締め切らせていただきますので、その場合はご了承ください。

○カタログのお申し込み先
熊本市水前寺6丁目18番1号
熊本県農政部流通対策室
☎(096)381-4924
お申し込みの際は、必ず240円切手を同封のうえ、上記の宛先まで郵送してください。

○「熊本うまかもん直送便」のお問い合わせは、
熊本うまかもん直送便受注センター
☎(096)324-7633
熊本県農政部流通対策室
☎(096)381-4924まで、どうぞ。

▽今回の特集は「景観」。

一口に「景観」といっても街並みのことから自然環境の話までとても大きな問題だと思います。でも結局は、私達一人ひとりの意識が大切なのでは……まず、自分の身の廻りを見渡すことから始めたいですね。

ところで、イラストレーター百鬼丸（前回の新熊本原人に登場）に、「景観」をテーマにイラストをお願いしたところ――